

一般質問

令和3年3月9日に「第1回奥尻町議会定例会」が開会され、1名の議員から一般質問がありましたので、その質疑応答の概要について紹介します。

一般質問



制野 征男議員

島留学生の展望と体制づくりは

質問

島留学生の入学希望が定員超えが続く中、入学希望に沿えない事態は避けるべきで、制度を基本から見直す時期ではないでしょうか。留学生の定員を30名に増やす、もしくは移住した場

合における島留学制度の適用など弾力的な対応の検討をしなければ制度の行き詰まりにつながるとの認識はお持ちでしょうか。

特例的な対応のため関係機関と協議必要

教育長答弁

現在、学区外からの就学者数を定員の50%、20名としていますが、ここ2年程は定員を超える入学希望者数でしたが、今後の受験者数の推移を見守る必要があります。

定員を30名とした場合、学区内定員数が10名となり、地元の生徒全員の入学が厳しい状況となることも想定されます。

なお、道立学校の規則では、学区外の人数を学区内より多く募集することを想定しておらず、特例的な対

応となるため、関係機関との協議や受入体制を含め、慎重に検討を進める必要があります。

また、定員増に対応した宿舍の確保についても検討が必要と考えております。

学区内の定員として移住者が入学するための支援を検討する場合、島内出身者の入学への影響を考慮する必要があります。移住者の受入れと支援に関しては、教育委員会のみで解決はできず役場を含め検討の必要があると考えます。



令和3年度より供用する潮風寮

PCR検査の社会的検査を

質問

PCR検査の社会的検査は、新型コロナウイルス感染拡大の防止にとつて欠くことのできない措置と専門家の統一的な見解となっております。

ワクチン接種が行き渡るまでは必要な措置であり、また、社会的検査は感染防止には必要ですので、PCR検査機導入後における町の検査体制プログラムについて問います。

必要だが検査無料化は考えていない

町長答弁

医療機関等の職員の社会的検査は、昨年のクラスターの教訓、多くの人々が

往來することからも定期的なPC R検査体制の確立が必要と認識はしております。

なお、検査の無料化は現在考えていません。

また、一般町民が希望した場合は、低額となるよう設定したいと考えています。



奨学資金滞納と改善対策は緊急課題

質問

奨学資金の多額の滞納が明らかになり、今後の取り組みと改善対策が緊急の課題ですので、滞納者への繰上償還、延滞金の請求、償還の猶予及び免除、保証人又は連帯保証人への請求、給付型の奨学資金制度導入の方針など教育委員会の対応について問います。

徴収体制を強化し未納金を整理する

教育長答弁

奨学資金の未納の理由は、経済的事情によるものが多く、繰上償還を求めることが困難なため、分割納付で回収に努めているところです。

延滞金の請求は、これまで元金の回収を優先していただいたので、事案はありません。

償還金の猶予については、特別な理由により償還を猶予したことがあります

が、免除については、貸付者の死亡等やむを得ない理由での免除はありません。

保証人制度の場合、催告の抗弁権があることから、保証人への請求はありませんが、納付相談により、保証人が償還した事案は1件ございます。

平成23年度以降、連帯保証人制度となっており、未納が発生した際には即座に連帯して返還する義務が発生するため、連帯保証人へ連絡し納入の相談をしております。

様々な教育資金の貸付制度が充実しているため、今後、町としての適切な学生支援の在り方を検討していきます。

地方創生事業として地方

に就業した者の奨学金の返還支援に係る市町村負担への財政措置が拡充されており、そうした制度活用を検討するとともに、まずは徴収体制を強化し、未納金の整理に取り組んでいきます。



神威脇温泉保養所の改修実態を問う

質問

神威脇温泉保養所は、島民はもとより観光客の誘客施設として貴重なものであります。

しかしながら、老朽化し

ており、今般300万円にて改修しますが、十分なものとは言えません。

つきましては、今回の改修実態と町民の声を活かした改修を求めます。

利用者の様子を見て対応

町長答弁

この度の改修工事の内訳は、正面玄関庇部分の左官、ホールや廊下のカーペット張替、脱衣室で傷みのひどい部分の壁の張替、男子2階浴室の給湯管の改修となっております。

以前から指摘されていたトイレの洗浄便座設置と洋式化は、構造的な問題でもあり大掛かりな工事となるため、当面は簡易式の洋式便座を設置して対応したいと考えています。

同じく、休憩室の敷物の